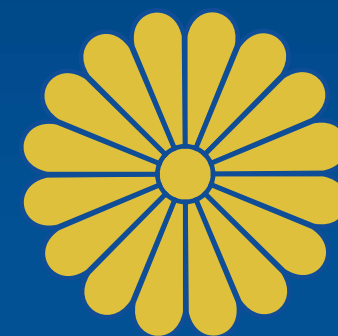


University of Tsukuba

University of Tsukuba

明日の EXECUTIVE 2024



筑波大学
社会・国際学群
国際総合学類



筑波大学
University of Tsukuba

国際総合学類紹介誌「明日のEXECUTIVE」

2024年度版

発行：筑波大学 社会・国際学群 国際総合学類

発行日：2024年3月1日

編集責任者：柏木健一

編集：国際総合学類

大倉沙江 井出里咲子

大友美空 田中萌 中島陸人

村上向日葵 山下風香

[国際総合学類へのお問い合わせ]

国際総合学類事務室 Tel:029-853-6010



筑波大学
University of Tsukuba

Kashiwagi Kenichi

柏木 健一

社会・国際学群 国際総合学類 学類長



CONTENTS

01 学類長挨拶	01
02 カリキュラム紹介	03
03 分野紹介	05
04 教員紹介	07
05 留学体験記	13
06 ボランティア・インターンシップ体験記	15
07 OB・OG からのメッセージ	17
08 学生紹介	19
09 Campus Life	29

国際人の育成

私たちが住む日本では、失われた20年または30年といわれるように、バブル崩壊後経済の低成長が続いており、少子高齢化そして超高齢化社会を迎える中、国家財政的にも政策的にも国内問題への取り組みが重視されています。人口減少下で国内経済が収縮する今日では、私たちが目を向けるべきことは、遠くの国際社会の出来事よりも身近な国内の問題であるのかもしれませんが。

しかし、世界を広く見渡せば、国際社会は実に様々な問題を抱えており、国際情勢は先行き不透明です。東アジアでは中国の台頭によって米中・日中関係が緊張しており、米軍撤退後のアフガニスタンではイスラーム主義組織が実権を握り、先進諸国でも保守主義やナショナリズムへの傾倒が見受けられ、権威主義体制の復活や民主主義の後退が世界各地で生じています。特に、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、戦後築かれてきた国家主権や人権といった国際規範を大きく揺るがす事態となっています。また、ウィズコロナ下での景気回復やウクライナ危機によってエネルギーや食糧の価格が世界的に高騰し、経済活動のグローバル化による相互依存関係の脆弱性が露呈しています。近年、大雨や洪水、干ばつが局地的に頻発しており、気候変動による影響が各地で生じている可能性も否定できません。SDGs（持続可能な開発目標）の達成が国際社会の共通目標とされていますが、人間開発や社会開発に関わる課題は山積しています。このように複雑かつ予測不可能な国際社会の変化に、私たちはどのように対応したらよいのでしょうか。自由や民主主義、人権、法の支配といった普遍的価値の共有がこれまで以上に必要とされる中、国際社会の安定と発展のために何が課題となるのでしょうか。グローバル化によって国内問題も国際問題と無関係でなくなっている中、ローカルな社会や人間はどこに向かうのでしょうか。感染症、貧困、所得格差、気候変動、紛争、差別、自由貿易、規制緩和、情報の氾濫など、目を向けるべき国際社会の諸問題は無数にあり、相互に複雑に絡み合っています。

国際総合学類は、これらの問題を含む現代社会の諸課題に対し、グローバル、ローカル双方の視点から深い洞察力と分析力を身につけ、豊かなコミュニケーション力を通じて先見性と独自性に富む解決策を提示できる「国際人」の育成を目指しています。ナショナリズムや自国優先主義、保守化や内向き思考は、日本だけでなく世界的な傾向であるかもしれません。ただし、このような時代であるからこそ、グローバルな視野を持った国際人の育成は大学の重要な使命といえるでしょう。

国際総合学類での学び

国際総合学類には国際関係学と国際開発学の2つの主専攻があります。さらにその2つを横断する形で、国際政治・国際法、経済学、文化・社会開発、情報・環境という文と理にまたがる4つの分野が存在しています。これら

4分野の科目群を広く学び、その上で1つの専門分野を深く追求することになります。

(1) 分析力

日々激動する国際情勢を読み解くには、確かな分析能力が必要です。国際総合学類はこの能力が身につくようなカリキュラムを用意しています。政治学の理論や政策決定のプロセス、経済動向、またはその背景にある文化等を学ぶことで世界の変化を定性的に理解できるようにすると同時に、統計学やデータ分析の授業で数値による定量的な分析能力を養成します。さらにフィールドワークの授業も設置されており、どう分析するのかを実践を通して学ぶことが可能です。

(2) コミュニケーション力

国際総合学類では3分の1近くの授業が英語で行われています。これは単純に英語を重視するというよりも、異なる文化背景による異なる言語上での他者とのコミュニケーション能力を培うためです。その中にはディスカッションやプレゼンテーションが中心のものやディベートの授業もあり、留学生・日本人学生双方がこの能力を育てられるように設置されています。また、国際総合学類が属する社会・国際学群には、社会国際教育プログラム（略称TISS）という全科目英語による留学生向けプログラムがあり、日本人学生も同プログラムの科目を履修することが可能です。

(3) 総合能力

分析力、コミュニケーション力を培った上で最後はそれらを動員し、問題をより高い視点から一つの考察へまとめ上げることが大切です。国際総合学類には独立論文というユニークな制度があります。通常、すべての学生は3年次から専門ゼミに所属し研究を進めていくことになります。そして3年次末に独立論文を執筆し、専門分野に関する研究の中途段階における成長発表の機会としています。これは、個々の研究の土台であり、学生が長いスパンの中で一つの研究テーマを掘り下げ、研究により深みを持たせるためのものです。これらは4年次でさらに探究され体系化されて最終的には卒業論文（必修）としてまとめられます。様々な授業を通して培った総合的な力を専門性につなげる学びを、国際総合学類は推進します。

国際総合学類は独創性と洞察力を有し、国際社会及びそれと連動するローカル社会の繁栄と発展に寄与できる人材の育成を目指していますが、それを実現するには教員側の努力はもちろんのこと、学生の主体的な取り組みも不可欠です。国際社会の諸問題をどう見るのか、それらの問題の解決に向けて現在の自分は何をすべきかを真剣に考えながら、学問に精進し、その上、国内外において実践的な活動に励む、それが国際総合学類生（「国際生」）の姿です。このような国際生（4年生）たちによって企画・編集されている本誌をぜひ紐解いていただきたいと思います。

国際関係学主専攻

国際関係学主専攻では、現代の国際問題に対する理解を社会科学を中心とした学際的な観点から深め、ガバナンス志向的な問題解決の能力を養うことを目標としています。学生の選択の幅を広げるため、政治学、経済学、国際法、文化系領域など各授業領域の垣根を低く設定しています。

国際関係学主専攻専門科目

国際政治・国際法分野

アジア政治	国際貿易論
現代日本外交史	国際金融論
現代中国研究	公共政策分析
国際組織法	Public Policy
国際法Ⅰ	Transnational Social Policy
国際法Ⅱ	政治参加論
国際政治学	日本政治思想
国際機構論	政治外交史
アジアの国際関係	憲法Ⅰ
東アジア国際関係史	憲法Ⅱ
ヨーロッパの国際関係	安全保障論
日本政治	Japanese Foreign Policy
ヨーロッパ政治	Japan and the World
市民社会論	人間の安全保障論
中央アジアの国家と社会	アメリカ政治外交論
南アジアの政治と国際関係	現代中東政治
Globalization and Development	国際人権と法
外交法政策論	International Relations in the Asia-Pacific

専門基礎科目（選択）

国際関係論	国際経済論	情報科学Ⅰ	統計科学
比較政治学	マクロ経済学概論	情報メディア概論	社会科学のためのデータサイエンス
国際関係史序説	文化・開発論	法学概論	English Discussion Seminar
国際法概論	数理科学Ⅰ	Media Politics	English Debate
初級ミクロ経済学	数理科学Ⅱ	政治変動論	

専門基礎科目（必修）

国際学Ⅰ	国際学Ⅲ
国際学Ⅱ	国際学Ⅳ

専門ゼミナール・卒業論文／インターンシップ

国際学ゼミナールⅠ	インターンシップⅠ
国際学ゼミナールⅡ	インターンシップⅡ
独立論文	海外研修Ⅰ
卒業論文	海外研修Ⅱ

経済学 分野

公共経済学	計量経済学
ミクロ経済学	開発途上国における諸問題
マクロ経済学	北アフリカの経済と社会
ジャパニーズ・エコノミー	開発と金融
基礎経済数学	開発経済学
経済数学	Health Economics
Mathematical Economics	International Financial Institutions and Economic Development in Southeast Asia
History of Economic Thought	

国際開発学主専攻

国際開発学主専攻では、国内外における新たな社会システム・概念の提案、人的資源の育成、合理的な合意形成に基づく環境保全、社会基盤整備、情報・通信技術と社会との協議など、実社会において「創造・選択」をする際に必要となる知識や能力を養います。これに向けて本主専攻には、経済・文化・社会開発の授業科目領域および情報・環境分野の授業科目領域が設定されています。

国際開発学主専攻専門科目

文化・社会開発分野

国際文化論	国際開発論	Social Anthropology
言語人類学	開発人類学	社会開発論
人類学特講	地域開発論	教育援助政策論
現代社会論	Social Development	北アフリカの文化と社会
スポーツ文化論	教育開発論	環境人類学
国際開発協力論	International Education	国際農業開発論
国際開発計画論	日本教育概論	ラテンアメリカの環境と社会

情報・環境分野

応用数学	音声聴覚情報処理	都市計画演習
情報科学Ⅱ	信号処理	都市計画原論
データ解析	コンピュータグラフィックス基礎	都市計画の思想史
水環境論	インタラクティブCG	都市計画の歴史
都市文化共生計画	情報セキュリティ	コンピュータネットワーク
住環境計画概論	ヒューマンインタフェース	機械学習
宇宙開発	人工生命概論	知能情報メディア実験A・B
環境政策論	都市経済学	地理情報システム概論

03 分野紹介



国際政治・国際法分野

回答者：照沼 昂己

・国際総合学類の魅力は何ですか？

魅力は、幅広い分野について学ぶことができる点だと考えています。入学したばかりの頃は「国際政治を学びたいな」と漠然と考えていました。しかし、それだけでなく、文化や都市計画を学ぶこともでき、自分の知識や学びを深めることができました。また、国際総合学類の「人」も、一人一人色があって魅力的だと思います！

・ゼミで学んでいることは何ですか？

ゼミでは国際安全保障について学んでいます。僕は米中関係や核抑止について興味があったので、もっと深く学ぶために現在のゼミを選びました。現在は核抑止を中心に研究を行っています。

・なぜこの分野に進んだのか教えてください

高校時代に、政治経済の授業で、パレスチナ問題や核兵器問題について触れたのがきっかけです。もっと詳細かつ論理的に学びたかったので、国際政治・国際法分野に進みました。

・大学で面白かった授業を教えてください！

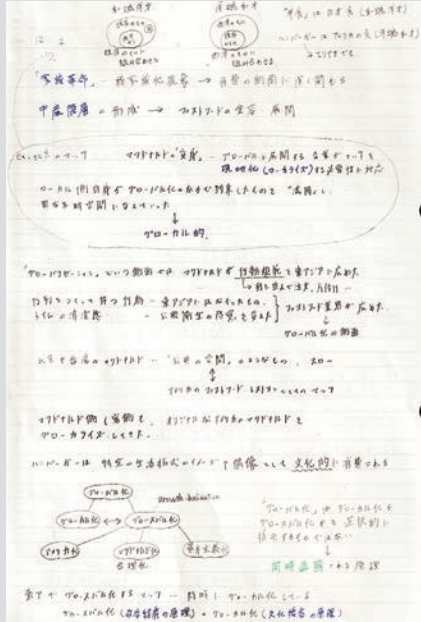
「文化・開発論」

グローバル化といったテーマのもとで、文化と文化の結合や、外的文化を内部化する過程について学びました。また世界経済史も各回のテーマに合わせた映画を見ることで、学びが深まりました。

・なにか一言

国際総合学類は国際関係に興味がある人はもちろん、幅広い学びを得たい人にとって最高の場所だと思います。国際総合学類を選んで心から良かったと思っています！

・授業のノートを見せてください！



『文化・開発論』

途上国における開発が地域の社会・文化に及ぼす影響や、地域の社会・文化に配慮した開発の在り方について、様々な事例を通して学んでいく。



経済学分野

回答者：小川 萌望

・国際総合学類の魅力は何ですか？

世界の諸問題や留学に興味がある人が多く、それぞれについてみなが自分なりの意見を持っている。そんな同志と語り合うことで、自分の考えが深まり、新たな気づきを得られる。

・ゼミで学んでいることは何ですか？

ゼミ全体では、なぜ途上国では経済発展が進まないのかについて学習している。個人としては、融資という切り口を通してサブサハラの貧困問題を解決できないかについて研究をしている。

・なぜこの分野に進んだのか教えてください

自分はずっと理系で、数字やデータを扱うことが好きだった。また、高校の政治・経済で学んだ内容を扱う「初級ミクロ経済学」を通じて、それらを世界の諸課題に応用できれば、と考えたため。

・大学で面白かった授業を教えてください！

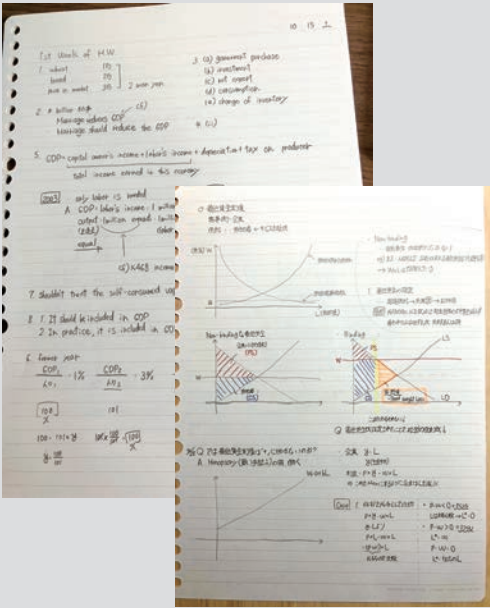
「公共政策分析」

最低賃金制度を始めとした経済現象を、高校の政治・経済で学んだ需要・供給曲線を用いながら読み解くのが面白かった。また、この授業で初めて統計ソフトを用いてデータ分析を行って、その楽しさに目覚めました！笑。

・なにか一言

「自分の道は正しいのか??」そんなの誰だって分からないし、自分も分かりません。ひたむきにやってみてから考えれば良いのです。国際総合学類は、色々なことを学べる上に、面白い人が沢山います。優柔不断でやりたいことが決められない人には、国際総合学類への入学をオススメします！"Think Positively, Act Speedily!!

・授業のノートを見せてください！



『公共政策分析』

財政政策、公共政策を分析する。さらに、分析した政策の効果やコストについても考察する。



文化・社会開発分野

回答者：萩野谷 怜奈

・国際総合学類の魅力はなんですか？

1人1人が豊富な経験や趣味を持っているため、友人から面白い話を沢山聞くことができることが、魅力だと思います！

・ゼミで学んでいることはなんですか？

ゼミでは、世の中の様々な社会課題に関して、文化人類学的視点や実体験を踏まえながら、現状や今後のあり方を議論しています。

・なぜこの分野に進んだのか教えてください

私は、長期インターンシップを通じて、事業立案・経営に興味を持つようになりました。

現地の課題を、現地住民の目線から考えようとする文化人類学的な視点は、ビジネスで求められる多角的な視点と共通しており、多角的な視点から課題の本質を捉える力を養うために、この分野を選択しました。

・大学で面白かった授業を教えてください！

「世界経済史」

現在の社会経済システムを国際的・歴史的に相対化して捉える視点が、自分にとって新しいものであったためです。

・なにか一言

大学4年間は、自分の好きなこと・興味があることに何でも挑戦できる貴重な時間です！楽しんでください!!!

・授業のノートを見せてください！



『世界経済史』

世界経済の発展とグローバル化の歴史を概観し、様々な歴史的発展理論を学ぶ中で、現在の社会経済システムについて考える。



情報・環境分野

回答者：所 泰我

・国際総合学類の魅力は何ですか？

国際総合学類の魅力はズバリ「人」ではないでしょうか！研究、サークル、留学など、様々なことに積極的に取り組む学生が多く、いつもポジティブな影響を受けています！また、幅広い分野に対して、「課題解決型」の学びができるのも魅力のひとつで、自分の興味を社会に役立つ学びとして追求できます。

・ゼミで学んでいることは何ですか？

2つのゼミに所属しており、一方では環境問題を歴史的に学び、もう一方では環境と経済の関わりについて学んでいます。今年度は原発政策について研究し、論文を書く予定です。

・なぜこの分野に進んだのか教えてください

「社会に必要とされる人間になりたい」というのが原点で、現在の社会課題でも大きなテーマである地球温暖化について興味を持ったのがきっかけです。特に環境と経済がトレードオフの関係になることに問題意識があり、研究を通じて少しでも解決策を提案できないか模索しています。

・大学で面白かった授業を教えてください！

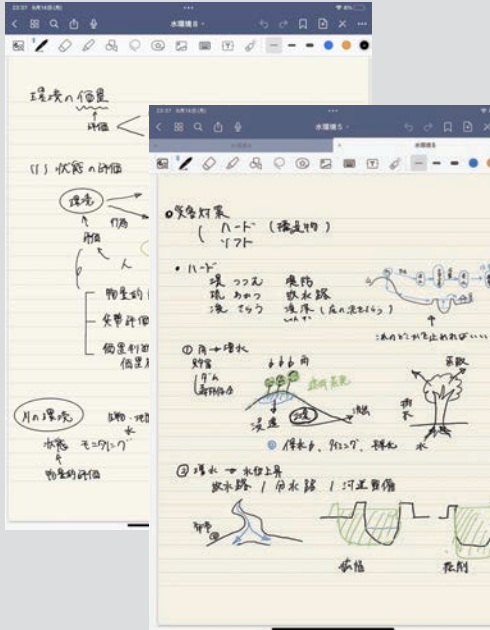
「世界経済史」

資本主義が当たり前の時代に、それ以前の経済や価値観を想像する事は難しいですが、映画視聴などを通じて、どのように現代社会が成立してきたのかを見通すことができて面白かったです。

・なにか一言

国際総合学類大好き。

・授業のノートを見せてください！



『水環境論』

河川を中心とした水環境について、自然の特性、人間の働きかけ、そして両者の関係という三つの面から学ぶ。



国際政治・国際法分野

International Politics and Laws

政治学系と国際法学系の科目を中心に、社会学類開設の憲法や行政学等を共通科目とすることで履修科目の充実を図り、国際社会の多様化、高度化、グローバル化に対応して、幅広い分野における調査、分析、政策立案などの高度な実践能力を有し、日本国内だけでなく国際社会においても指導的役割を果たすことができる人材養成を目的としています。

潘 亮

Pan Liang

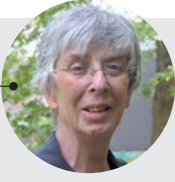


①日本外交史。一枚一枚の資料を通して遠い過去と遠い将来の間に位置する現在の国際社会の諸問題とその意義をじっくりと観察・思索しながら、時代の躍動感を「静かに」満喫する機会に恵まれる分野です。

②大学を単なる問題解決の方法を習得するための場所としてではなく、問題を発見する方法、そして問題に立ち向かう姿勢を学ぶ場所として活用していただきたいと思います。

レスリー タック川崎

Leslie Tkach-Kawasaki



①Political communication, especially through the Internet, has many dimensions, such as policy- or election-related communication. Media formats have changed greatly since the introduction of the Internet. I am keenly interested in studying these types of communication formats through various online channels.

②University life offers great opportunities to discover your unique talents and contributions to society. We are happy to help you fulfill your dreams!

Timur DADABAEV



①国際関係・政治。

②大学での4年間で最大限に生かすために目標と計画性を持つてください。

東野 篤子

Higashino Atsuko



①現代ヨーロッパの国際関係。欧州連合（EU）を中心としたヨーロッパの国際関係を学んでいます。ユーロ危機、ノーベル平和賞、トルコの加盟交渉の行方、ウクライナなどの周辺諸国の危機など、悲観的要素と楽観的要素が常に交錯するEUから、片時も目が離せません。

②たくさんの本を読み、貪欲に学んでください。

毛利 亜樹

Mouri Aki



①現代中国研究、インド太平洋地域の国際関係。

特にこの10年で大きな変化が生じているが、依然として日本の貢献が極めて重要であるところ。

②もうダメだと思ってからさらに努力しましょう、お互いに。

大友 貴史

Ohtomo Takafumi



①国際政治理論、国際安全保障、同盟。

②Critical thinkingを大切に。

大倉 沙江

Okura Sae



①政治学、市民社会論、利益集団論、ジェンダー論。日本の福祉政策・女性政策はどのように変化しつつあるのか、またそれに圧力団体（女性団体や障害者団体と呼ばれる団体）がどのような影響を与えているのか分析し、より社会的に脆弱な立場に立たされている人々の意見が政策に反映される条件について考えています。

②本を読み、自分でデータを集め、分析するという訓練を通して、多様な価値観がある社会の中でも自分の人生の基盤となる考え方や価値観と一緒に身につけましょう。

茅根 由佳

Kayane Yuka



①東南アジア政治。特にインドネシア政治を中心に研究しています。体制変動や民主化に伴う地域独自のダイナミズムの究明に研究の面白さがあります。

②積極的に海外に出て多様な価値観を学んでください。

外山 文子

Toyama Ayako



①タイ政治、比較政治学。タイでは過去19回もの軍事クーデターが起きています。経済は順調に成長したものの、政治はなかなか民主化しないタイ政治は、奥深くて興味が尽きません。

②好奇心を持って、楽しみながら勉強できるといいですね。

佐藤 麻理絵

Sato Marie



①中東地域研究、難民研究、現代ヨルダン政治。中東は難民問題の震源地であり、政治的・社会的変動が絶えず続いている地域です。変革の途上にある中東地域（さらにはイスラム世界）は尽きない魅力で溢れており、多様な角度・視点から考察し分析する醍醐味があります。

②大学は知的好奇心追求の場です。たくさんの疑問を自らの意思と行動で、思う存分追求して下さい。また、疑問を抱いた対象の普遍性や自明性についてを問う姿勢も大切に。

日高 薫

Hidaka Kaoru



①国際政治学、安全保障、軍縮不拡散、政軍関係。安全保障をめぐる様々な政治現象を説明するための理論的研究をしています。理論は「学ぶ」のも「使う」のも面白いですが、一番は自分で「作る」ことだと思います。良い仮説を思いついたときの知的興奮（と、それが間違っていることに気づいたときの悔しさ）に日々翻弄されています。

②食わず嫌いせず、色々な分野の知見に触れてみてください。

CHOTANI Vindu Mai



①International Relations; Indo-Pacific; Japanese Foreign Policy, Indian Foreign Policy

The political climate in the Indo-Pacific region is changing rapidly. Interactions and relations between the states and nations are having and will continue to have a significant impact on the future of our world. Therefore, it is interesting to think about and study questions such as, why do states behave the way they do? How are decisions made? What influences these decisions?

②Be curious, never stop learning and don't be afraid to ask questions.

Murod Ismailov



①Transformative Education; Learner-Centered Education,International relations; Area studies (Central Eurasia)

②Join my courses to enhance your intercultural communication, creativity, and meta-learning skills. Expect an experience where you'll grow, connect, and prepare for a dynamic, interconnected world.





経済学分野

Economics

変化する経済のグローバル化と企業活動の多国籍化、地球規模の環境問題、先進国で急激に進む高齢化・少子化、経済成長の国際不均衡、発展途上国における慢性的貧困問題等の現代の経済問題を分析し、解決策を提案できる人材、あるいは様々な企業・政府活動において自分自身の行動の羅針盤となる経済知識を持つ人材の養成を目的としています。

中野 優子

Nakano Yuko



①開発経済学。発展途上国の人々がどのように貧困から抜け出せるかを研究しています。アフリカ農家に話を聞いて得たデータを分析し、所得向上のための方策を途上国政府、援助関係者や農家の方々と共有できることがやりがいです。

②大学では論理的な思考能力と、自らが生きる社会を相対視する力を養ってもらいたいと思っています。大学の勉強は「知的などきどき」に満ち溢れています。たくさん勉強して、いろいろな経験をして、悩んで、何か一つ、「これだ!」と思えるものを見つけてください。



文化・社会開発分野

Culture and Social Development

国際舞台を目指す学生に現代社会で生起する諸現象を文化の側面からアプローチする視点を定着させると共に、西洋中心の近代的価値観や諸制度を所与のものとすることなく、人間の文化の多様性を認識・尊重しつつ、異文化空間における広い意味での「対話(コミュニケーション)」を国際舞台で実践する事のできる人材の養成を目的としています。

寺内 大左

Terauchi Daisuke



①研究分野：環境人類学／環境社会学。

研究分野の面白さ：同じ環境でも人や社会によって見方や価値のおき方が異なり、かかわり方も異なる。世界の多様な人々・社会による多様な環境の見方、価値のおき方、かかわり方を学び、よりよい環境と社会の関係／よりよい環境をめぐる人と人の関係を考えることは、これからの時代とても大事なことだと思っています。

②「物事の見方が変わり、考え方が変わり、行動が変わる」。そんな学びをしてもらいたいです。

柏木 健一

Kashiwagi Kenichi



①開発経済学、中東・北アフリカ経済研究。現代中東・北アフリカの地政学的特性や歴史背景、社会制度を踏まえて、現地の農家や小規模産業の経済行動をマイクロデータを用いて実証的に分析し、産業発展や技術革新、雇用創出に生かそうと研究しています。現地のフィールドから経世済民を考えることに研究の面白さがあります。

②文系理系の枠にとらわれず、幅の広い視野を持ち、知的好奇心を常に磨きましょう。学生時代に広めた見聞や深めた知識は将来の貴重な財産です。グローバルな課題を抱える世界に目を向けましょう。

MOGES Abu Girma



①Economic Policy and Poverty Analysis. The field of economic policy and poverty analysis blends both the theory and practical applications to solve some of the most pressing economic challenges of our time. Such a field of research appeals to me as it helps to identify reform areas to improve the life of millions of people.

②We live in a brave world that requires recurrent adjustment and vision. As the young generation, open yourself to the world and enjoy the challenge of shaping the new world of tomorrow.

関根 久雄

Sekine Hisao



①文化人類学、地域開発論、オセアニア島嶼研究。当たり前を疑い、現象の内側に隠れている意味を明らかにすること。

②大学受験や将来の進路など、悩ましいことばかりの日々かもしれません。多少遠回りになっても、自分にはハードルが高いと思ってしまうようなことであっても、後悔しない挑戦をしてください。それはきっと、あとになって何ものにも代え難い財産となって返ってくるはずです。

柴田 政子

Shibata Masako



①教育社会史、歴史教育、比較教育。比較教育学：国際的な視点で、社会が変化する過程で教育が果たす役割を考えること。

②夢を追ってください。多様な生き方が受け入れられるようになった社会で、自分の感性を磨き信じて人生を歩み進んでください。

黒川 義教

Kurokawa Yoshinori



①国際貿易論、産業組織論、マクロ経済学、日本経済論。普段当たり前のように耳にしている議論が、実は、単純な経済学を使ってみると、根拠のない議論であったと分かる時があります。それは経済学を学ぶ上で味わえる面白さの一つではないでしょうか。

②常に今何がプライオリティなのかを見失わないように気を付けてほしいと思います。また、短期でも海外留学することを勧めています。「日本（出身国）から来た誰々さん」というだけの裸の自分になれて楽になれます。

Zhengfei YU



①My research field is Econometrics. It focuses on the methodology of recognizing spurious relationships and uncovering true causality from data. For example, in data we observe that collage graduates usually earn more than high school graduates. Is it because education enhances labor productivity? Or is it simply because smarter people are more likely to go to college? Econometrics provides methods to answer such questions.

②Good luck in discovering and following your passion.

井出 里咲子

Ide Risako



①言語人類学、語用論、社会言語学、ことばと文化からひも解く人間社会の理解。地域：アメリカと日本、過去には韓国も。

②勇気と好奇心を胸に、いろいろな人と出会い、様々な景色を見て、複眼思考を身に着けてください。

藤澤 奈都穂

Fujisawa Natsuho



①ラテンアメリカ地域研究、熱帯農村研究、アグロフォレストリー研究、熱帯林保全論

地域が変わると環境も人も文化も変わり、その地域特有の森林管理や農業が見られます。

それらの地域の独自性を、研究を通してグローバルな価値に繋げ、多様性を認め合う社会を目指していくことに面白みを感じています。

②迷ったらやってみる、が良いと思います！

内藤 久裕

Naito Hisahiro



①公共経済学および衛星データを用いた環境・経済活動分析分野の面白さ。この分野は近年技術進歩が大きく、これまで問えなかった問いを地球レベルの巨大データを使って研究することができることです。

②この分野に関心のある高校生は、私にコンタクトしてみてください。

Fatwa Ramdani



① Applied Geographical Information Science (GIS) for Economics and Social Studies. Applied GIS can unfold something unseen and intangible. We can explore the world and answer modern issues faced by modern society using cutting-edge technology, such as space-borne sensors, unoccupied aerial vehicles (UAV), and cloud-computing platforms. Supported by a visualization approach, makes it easier to communicate the solutions to broader stakeholders.

②In my class, under my supervision, and in the seminar, failure, and mistakes are expected, respected, and corrected. Don't be afraid to explore and do your curiosity. Because the foundation of science and innovation is curiosity. Let's protect and explore our world together!

松島 みどり

Matsushima Midori



①公共政策・国際保健医療・インパクト評価。特に、政策のデザインや実施方法に人がどのように反応するか、そしてどうすれば、より効果的な政策が実施できるのかを定量的に研究しています。現実社会に直結した問題を研究できるといった点が気に入っています。また、人々の行動について研究をしていると、自分がいかに人間の行動に無知であるかがわかり面白いです。

②心から楽しいと思える人生を、自分のために、自分の幸せに責任をもって歩んでください。



情報・環境分野

Information and Environment

ITの発展は目覚ましく、国際舞台での活躍を目指す学生にとって必須になるものであり、また、環境・資源問題が深刻さを増し、地球規模での取り組みが必要になっています。基礎的素養として情報リテラシー、深い洞察力・分析能力を身につけさせ、さらに情報・環境分野での専門性を深め、国際舞台で活躍できる文工融合型技術者の養成を目的としています。



岡 瑞起

Oka Mizuki

①ウェブサイエンス・人工生命。SNSなどのインターネットサービスを生命のように捉え、その生態系や進化メカニズムを理解する研究分野です。

②これからの学問には、文系・理系問わず文理融合の学問的な素養が必要になってきます。文系・理系両方の科目を学べる筑波大学・国際総合学類と一緒に学びませんか。



奥島 真一郎

Okushima Shinichiro

①環境経済学、エネルギー経済学、政策分析。環境やエネルギーに関する問題について、主に経済学的な視点から分析しています。「市場」や「マネー」という手段を「人間」や「環境」という目的(善)にどのように結び付けていけばよいのか、日々考えています。

②大学生になったら、専門的知識だけでなく教養を、また「自ら学ぶ習慣」を是非身につけてください。



亀山 啓輔

Kameyama Keisuke

①情報工学、特にパターン認識とメディア処理。五感から入ってくる刺激を学習に基づきカテゴリ分けし、さらなる状況判断に活用する、人間が持つ知的能力をコンピュータで実現することをめざす研究分野です。昨今、いくつかの応用に対してはコンピュータが人間を越えたとも言われますが、まだまだ人間をはじめとする生物、自然に学ぶことは少なくありません。

②自分が思い描いているゴールを実現するためには、自分にどのような能力が必要なのかを真剣に考え、時間を無駄にせず着実に前進してください。



蔡 東生

Cai Dong-Sheng

①私が行っている研究は、宇宙気象とか、彗星探査と関連しています。太陽系で、磁気を持っているのは、太陽、水星、地球だけで、水星は地球より太陽に近い軌道を回っており、到達困難な惑星です。地球の磁気は宇宙からくる放射線から人間を守っていますが、この磁気は決して未来もあるわけではありません。そこで太陽、地球の磁気観測をやっています。宇宙開発プロジェクトに参加してみたい人は、ぜひ連絡してみてください。ロケットの打ち上げや、打ち上げ場は見ている価値があります。

②18-20代の後半は生涯で一番成長の著しい期間です。この期間に、留学したり、経験を積むことは大事です。いろいろな経験を積む中で、自分の本当にやりたいことを探してください。自分の内なる声、「リトル自分(サッカーの本田選手は「リトルホンダ」とっていました)」に自分の本当にやりたいことを問い続けて下さい。



白川 直樹

Shirakawa Naoki

①河川工学(水環境、水防災、水資源) 人類が生存し、生活し、活動していくために不可欠な「水」のふるまいを通して、人間社会の複雑さと自然界の深遠さを両方楽しめるところ。

②こんな時代だからこそ、筑波大学の国際総合学類に来て学びませんか。自ら学ぶ意欲さえあれば、他所にはない学究環境がここにはあります。





鈴木 大三

Suzuki Taizo

①多知覚メディア処理。多くの情報メディア技術を支える「信号処理」や「画像・映像処理」を基盤とした研究を行っています。たとえば携帯電話や地デジTV放送にも、そのノウハウがギッシリ詰まっています。

②世界の変化と共に、様々な情報メディア技術も日々進化を続けています。単に国際関係の知識を有するだけでなく、情報メディア技術の知識やそれを扱う方法を身につければ、世界における活躍の場がさらに拓けます。



高橋 伸

Takahashi Shin

①ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)。コンピュータと人とのかわりあいという面から、よりよいコンピュータシステムを探っています。情報科学、数学、社会学、心理学、人類学、哲学、など理系文系にわたって多くの分野にかかわる学際的な研究分野です。

②国際総合学類はいろいろな分野の教員がいて、幅広いものの方見方を学べる学類です。情報科学やHCIも少しかじっておくと将来何かの役に立つかもしれません。



Simona VASILACHE

①Computer science/Software engineering. Computers represent this wonderful world that we so often depend on. However, they are very obedient, they do what we tell them to do. Learning how to make computers listen to us and work for us is interesting and cool!

②Do not be afraid to follow your dreams, to try new things. This is the time to find out what you love and pursue your passion, no matter what! Study hard, learn about the world around you, travel, read many books and make many friends!



松原 康介

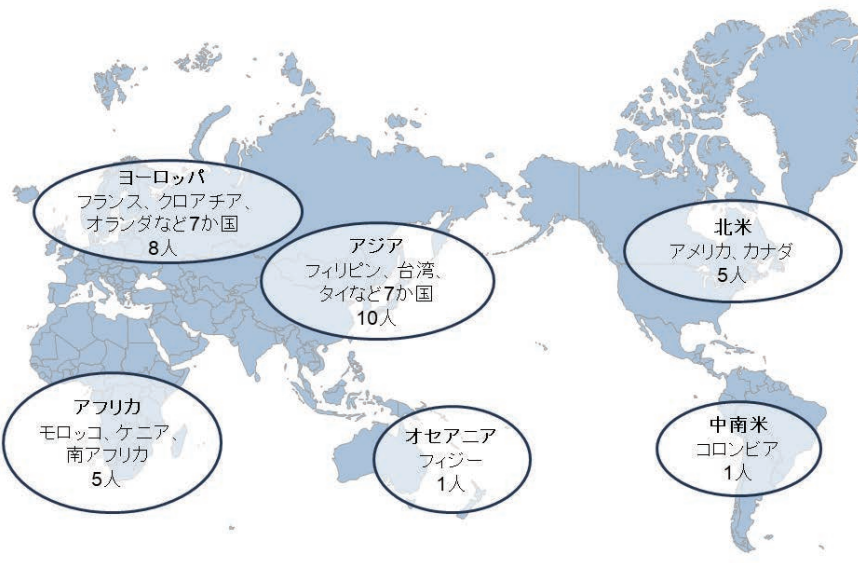
Matsubara Kosuke

①多文化共生の都市計画。中東・北アフリカ地域の都市計画。

②留学を通じて心身共に鍛えましょう!

Column 1

国際生が訪れた国調査



国際39期生が大学入学後に留学、インターンシップ、ボランティア等で訪問した国の調査結果です。

国際生は世界の六大州全てをコンプリートし、計21か国を訪れていました。

国別ランキングでは、フランス・カナダ・モロッコが同率1位で、それぞれ3人が訪問しました。

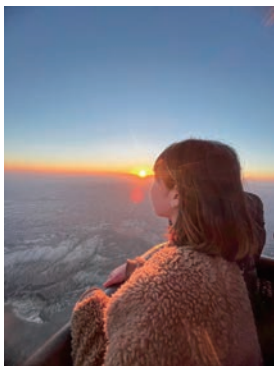
39期の3人に1人が在学中に留学を経験・予定中!

トルコ留学への誘い

トルコ ボアジチ大学

星川 七海

Hoshikawa Nanami



どうして留学先にトルコを選んだのか？周りの人に留学のことを話すと決まっただけで聞かれます。ご飯がおいしそうとか景色が綺麗そうといったふわっとした理由と勢いで決行したトルコ留学でしたが、最終的に「私はトルコに、イスタンブールに呼ばれてここにきたのだ」と思えてくるほどに、トルコのこと大好きになって帰国しました。私の体験談を読んで少しでもトルコに興味を持ってもらえたら嬉しいです。私の留学生活は「静と動」の一言で表せます。学ぶ時は学び、遊ぶ時は遊び、4ヶ月という短い期間でありながら濃く充実した時間を過ごしました。「静」の部分でいうと、私はトルコをめぐる国際関係に興味があったので、Foreign Policyというトルコの外交政策についての授業を履修し、現地の学生に混じってトルコの視点から周辺国との関係構築について学びました。トルコは、西にはヨーロッパ、東には中東諸国、そして北には黒海を挟んでロシアという地政学的にとってもユニークな場所に位置しています。そのため、どの勢力とも近付きすぎず離れすぎずの絶妙な関係を築く必要があり、繊細なバランス感覚で外交を展開しているのだと知り、改めてトルコ外交を学ぶ面白さに引き込まれていきました。他にも、サイバー攻撃など新しい形の安全保障に関する授業や外交におけるゲーム理論についての授業を履修しましたが、やはりForeign Policyが一番学んでいて面白かったです。「動」の方については、イスタンブールでは公共交通機関をとて

安く利用できたので、空き時間を見つけてはモスクや博物館など様々な場所に出かけました。1人でふらっと出かけることも多かったのですが、友達に「七海はいつも出かけていてどこにいるのか全く予想がつかない」と言われたことも…。支配者の変遷によって教会からモスクになったアヤソフィアやオスマン帝国時代にスルタンとその妻たちが生活していたドルマバフチェ宮殿など、イスタンブールの名所を制覇しようと精力的に出かけたのですが、イスタンブールは4ヶ月いても回りきれないほどに広大で魅力の詰まった都市でした。さらに、時にはイスタンブールを飛び出して、トルコ国内の他の都市やヨーロッパに旅行に行くこともありました。その中で特に印象に残っているのは、カッパドキアというトルコ有数の観光地で熱気球に乗ったことです。朝焼けの静かな空に無数の気球が浮かんでいる景色は、あまりに幻想的で夢を見ているかのようでした。ここでは語り尽くせないほどに、トルコには見どころがたくさんあって、人々も温かく食べ物も美味しい本当に素敵な国です。世界史の資料集に載っていたアヤソフィアの写真に何故か惹きつけられ、「これを現地で見てみたい」と思ったあの瞬間から私はトルコに呼ばれていたのだと、今となっては思います。もしあなたが留学を考えているならば、選択肢の一つとしてトルコを検討してみたいはいかがでしょうか？

豊かな自然と食べ物、
人々に恵まれたカナダ語学留学

カナダ プリンス・エドワード島大学

勝地 亮太

Katsuchi ryota



右端が筆者

2022年の夏休み3週間、比較文化学類開設の「比較文化国際研修II」を履修し、プリンス・エドワード島大学（カナダ）にて語学研修を経験しました。プリンス・エドワード島は、カナダ東部に浮かぶ自然豊かな小さな島です。島内は、豊かな自然を生かした農業や漁業、観光産業がさかんで、どこか時がゆったりと流れるようなのんびりとした雰囲気が流れていました。この研修は、私が知る限りですが、コロナ禍が続く2022年の夏季休業中に開設されていた唯一の語学研修プログラムでした。そのため、「海外に行きたい!」という気持ちとカナダの文化への興味から、参加を決めました。私自身がこの語学研修に参加して良かったと考える点は、2つあります。1つ目が、カナダの多様な文化と触れ合い、そして日本の文化を見つめ直すきっかけになったということです。研修内では、プリンス・エドワード島が「赤毛のアン(Anne of Green Gables)」の舞台ということで、「ミュージカルをみたり、作者であるLucy Maud Montgomeryの生涯を学ぶことを通じて、赤毛のアンの世界観に存分に浸ることができました。また、カナダの歴史であるResidential School Systemについて学んだり、カナダの伝統的なカントリー調の音楽に触れたりすることもできました。さらに、他の研修生と意見や疑問を交えるこ

とで、より疑問が深まり、カナダへの興味が増していきました。2つ目が、かけがえのない人々と多く出会えたことです。私が渡航した2022年の夏は、コロナが完全には収束していなかったため、ホームステイではなく、大学内のレジデンスでの生活となりました。ホームステイをしたかったという気持ちもありますが、レジデンスでの生活だからこそその出会いも多くありました。レジデンスには、自分たち語学研修生のほか、近所で開催されるアメリカンフットボールの大会に出場する高校生の選手たちや、プリンス・エドワード島で開かれるパレードで演奏する楽団員など、実に多様な人々が滞在していました。国籍や肌の色、言語、性別等にとらわれず、ちがいを楽しむ、そんなことが当たり前でできていたのではないかと感じています。研修を通じて育んだ友情は今でも続いています。写真は、研修中、多くを過ごした友人たちと撮ったものです。プリンス・エドワード島の3週間は、本当にあっという間でしたが、思い返してみると多くを学び、吸収することのできた有意義な時間であったと考えています。プリンス・エドワード島で出会ったかけがえのない友人とともに、カナダを再訪し、さらなる気づきや発見ができることを楽しみにしています。

古代ローマ都市
クロアチア・プーラでの学び

クロアチア ユライ・ドブリラ大学

瀬古 希

Seko Nozomi



前列右から2番目が筆者

私は2023年2月から7月までクロアチアのユライ・ドブリラ大学プーラ観光学科(以下プーラ大学)に留学した。プーラは、ローマ帝国の都市として発展をした。その名残で、まちは円形闘技場(コロッセオ)をはじめとしてたくさんのローマ遺跡が残されている。クロアチアは、旧ユーゴスラビア連邦共和国に所属する国であった。1990年代の戦争で、世界文化遺産として登録されるドゥブロヴニクをはじめとして、たくさんの都市の遺産が壊された。そのような紛争のイメージがいまだに残っているかもしれないが、現在のクロアチアはとても平和かつ明るい国だった。クロアチアの英語教育が素晴らしいのか、英語は問題なく通じ、クロアチア語がおぼつかない私でも生活ができた。都市の規模は隣国のイタリアやオーストリアなどと比較すると小さいが、都市の機能がまとまっており、非常に見応えがあった。私が住んでいたまちプーラは何度も散歩をしても飽きなかった。首都ザグレブやドゥブロヴニクでも何回もまちを歩いた。他の旧ユーゴの国も、どこも人は優しく、見応え抜群であった。パスポートコントロールが少々面倒かもしれないがぜひ訪れてほしい。クロアチアでは観光学について学んだ。現在の専攻は都市計画であるが、かねてより

観光学に興味があった。クロアチアでは観光を基幹産業として、ユーゴ戦争で荒れ果てた国を復興させた。旧ユーゴスラビア諸国で観光収入はトップであり、昨年(2022年度)の観光での収入は世界で10番目であった。この国ではどのように観光に力を入れているのか、そもそも観光学とはなにか、その問いに迫るために留学した。留学中は観光学を専攻にしている学生とディベートをするなど難しい科目もあったが、良い学びの機会を得られたと思っている。私は留学生だけでなく、日本語を学ぶクロアチア人とも関わった。留学生との会話は英語を中心に行った。日本語学科の学生とは日本語と英語を混ぜて話していた。ただ、英語の勉強をおろそかにしていたこともあり、コミュニケーションがスムーズに行かないこともあった。しかし、留学終盤ではスムーズに行かないことが少なくなったように思える。異国での暮らしは不便を伴うものであり、ときに自分を責め苦しくなることもあるかもしれない。しかし、そのような経験を大学生の間で積むことで人間として一回り成長できる。少なくとも私はその一人だ。留学に興味があればぜひ留学へ、あわよくばクロアチアに留学してほしいと思う。

フランス留学体験記

フランス パリ・ラ・ヴィレット建築大学

家城 悠紀

Ieki Yuki



私は現在パリ・ラ・ヴィレット建築大学へ交換留学をしています。3年生の秋から4年生の夏までの約10ヶ月間の予定で、現在3ヶ月が経ったところです。

なぜ国際生が建築大学へ留学しているのかと思う方がいるかと思いますが、私は国際総合学類の都市文化共生計画研究室に所属しており、主に都市計画を専攻しています。パリの建築大学では建築と都市計画をひとまとまりとしてプロジェクト（演習の授業）を行うため、自分の分野も活かせると思い留学を決めました。

まず大変だったことはそもそも海外へ行くことが初めてであったため、パスポートやvisaの申請など渡航1ヶ月前は非常に苦労しました。また到着後も、フランス語の会話もままならなく食文化も違うのでスーパーでの買い物すらストレスを感じていました。自分の悪い癖で、なるべく1人で解決しなければならないと考えてしまい、人に頼ることは日本にいる時から苦手でした。しかし初めての海外で人に頼らずに生きていくことは、決してできません。初めてパリのスーパーでカード決済する時、ランドリーでどこに洗剤を入れるか分からなかった時、空港で搭乗口を探していた時など、もしかしたら一見無愛想に見えるかもしれませんが勇気を持って聞

いてみると丁寧に教えてくれました。フランスでは英語も通じますが助けてもらった時はフランス語での会話も多かったと思います。

授業の方は現在、フランス語のクラス2つと物や都市の修復のクラスだけを取っています。初めはプロジェクト（演習の授業）を履修していたのですが、1回目の授業へ参加した時に全ての時間でフランス語・自分以外はフランス人学生でほとんどの内容を理解できませんでした。流石に今の自分にはついていくことはできない上に、留学の目的である「とにかく多様な都市を巡り日本や各国間、フランス国内での都市政策の違いを感じ取り分析すること」に時間を費やすことができないと思いました。そのため、今学期は演習を取らずに毎週のようにフランス国内か海外の都市を巡るようになりました。授業を辞める時も演習の先生と事務の人に交渉するのが大変でしたが、…。今後も語学力と建築や都市への知識を向上させて、後期には演習の授業に再チャレンジすると決めています。

留学が始まって最初の3ヶ月は、新しい都市へ行った際、主観的に都市を評価していたことが多々あった気がします。そのため残りの7ヶ月間は都市をもっと客観的に分析できるように事前調査から実際に現地へ行き、考察するという流れを心がけたいと思っています。

06 ボランティア・インターンシップ体験記

営業の大変さ

岩佐 克也

Iwasa Katsuya



私は2年生の4月から7月まで、約3か月間、「オンライン自習室」での法人営業のインターンシップを経験しました。この仕事は、与えられた商材を自分で売り込むための戦略を考える必要がありました。そのため、法人営業のインターンシップを通じて、人を説得するスキルを磨く機会を得ることができました。インターンシップのきっかけは、知り合いの紹介であり、自分のキャリア形成において非常に貴重な経験となりました。

営業職に限らず、どんな職種でも、人を説得するスキルは非常に重要だと感じています。このインターンシップを通じて、そのスキルを磨く機会を得ることができ、これからのキャリアにおいて大いに役立つことを実感しています。自分で売り方を考え、実行することは、営業職において特に重要です。そのため、このインターンシップは自己成長とスキル向上にとって不可欠なものでした。

この期間中、私はさまざまな営業アプローチを試しました。例えば、飛び込み営業、テレアポ、メールアプローチなどがあり、どの方法がこの商材に最適かを検討するプロセスは、非常に興味深いものでした。飛び込み営業は直接顧客と対話できる利点がありましたが、予期せぬ拒絶にも直面しました。一方、テレアポは比較的効率が良く、多くの潜在顧客にアプロー

チできましたが、電話越しのコミュニケーションには特別なスキルが必要でした。メールアプローチは時間をかけて情報を提供できる利点がありましたが、返信が得られないこともありました。

これらの困難に対して私は試行錯誤しました。失敗から学び、アプローチを調整し、改善しました。このプロセスを通じて、営業のスキルだけでなく、問題解決能力やコミュニケーションスキルも向上させました。また、それぞれの商材に合ったアプローチを考えることは、戦略的思考を養う手助けとなりました。

このインターンシップを通じて、単に仕事をこなすだけでなく、自分なりに考えながら進める楽しさと達成感を味わうことができました。新しい取引を獲得し、顧客との信頼関係を築くプロセスは非常に充実感のあるものであり、成功体験から多くの学びを得ました。また、自己管理能力も向上させ、タスクの優先順位を決定し、効率的に時間を使う方法を学びました。

このインターンシップは、私のキャリア形成において非常に重要な一歩でした。営業スキルを向上させるだけでなく、自己成長と専門知識の獲得にもつながりました。将来のキャリアにおいても、この経験から得た知識とスキルを活かし、成功に向かって前進していきたいと思っています。

感覚を通した学び

菅原 瑠莉

Sugawara Ruri



私は、自身の進路を考える中で、不安定な状況下で負担を強いられる方々に対して、直接的な支援を届けるという、NPO団体の活動に携わりたいと思っていました。大学入学後は、1年生の秋から2年生の夏にかけて1年間、大学生がNPO団体で職務体験をできる企画の運営に携わっていました。そのお仕事の一環として、私自身もNPO団体にボランティアとして直接関わる機会を得ることができ、そこでお世話になったのが障がい福祉支援を行う団体でした。

活動させていただいたのは、「障がいを持つ方々が、高校卒業後に就労以外の選択肢を持つ機会に乏しい」という日本の現状を課題として、もっと学び、青春を楽しみたいという彼らの願いを実現する「福祉型専攻科」の団体でした。青年期の学びを保証し、また、引きこもっていた障がい者の方々が現在就労中の方々に、教育や社会体験の場を作るという理念の下で運営されており、大学生から大人の年代まで十数名の利用者さんがいらっしゃいました。国語や算数といった科目授業のほか、創作、地域清掃、避難訓練、ヨガ、県外への旅行企画などの様々なカリキュラムが組まれ、それらを利用者さんと共にする形で、ボランティアスタッフとして活動させていただきました。

活動を初めた頃は、支援事業であるという心づもりで構えてしまい、彼

らのためになるようにちゃんと動かなければと考えがちでした。もちろんその視点も必要ですが、彼らから話しかけてもらったり教えてもらったりする場面が多くあり、利用者さんと同じ目線で自然体のコミュニケーションをとる姿勢を大切にするようになりました。一方的にサポートするのではなく、彼らと同じく学ぶ立場であるという自覚を持つことで、次第に信頼関係を築くことができるようになったと思います。同時に、活動を継続する中で、彼ら一人一人の個性を知り、「利用者さん」という一括りの存在として対応するのではなく、彼らそれぞれに合った話し方や内容を考えて接することができました。また、スタッフの方々とお話させていただく機会にも恵まれ、福祉事業の現場の課題、政治とのつながり、外国の状況などを教えていただきました。そして、問題の所在を見据え、「利用者さん一人一人に対して充実した人生を送ってほしい」と願うスタッフの方々の姿勢に刺激を受けながら、活動を続けられました。

障がい福祉という自分にとって新しい分野の活動を経験して、自身の立場や人との関わり方を深く考える視野を培う機会をいただきました。このような経験や学びを還元できるよう、今後も社会との接点を意識しながら、情報に触れたり様々な活動に参加したりしていきたいです。

初めてを恐れずに

小田島 ナウラ

Odashima Naura



2023年2月から3月までの約1か月間、SEA-Teacherプログラム（海外教育インターンシップ）に参加させていただきました。これは、SEAMEO（東南アジア教育大臣機構）が主催し、インドネシア・タイ・フィリピンと筑波大学間で2020年から行われている、国際教育実習プログラムです。

もともと、東南アジアにおける教育開発援助に関連した研究をしたいと考えていました。そのため、実際に現場を見ることができる貴重な機会だと思い、プログラムに応募しました。私の実習先は、フィリピン・ルソン島のムニョスという町にある、セントラルルソン州立大学の附属中高（Science Highschool）でした。事前にある程度下調べはしていたのですが、空港のある首都マニラから車で5時間ほどかかり、大学の他には一般的な住居や小さな個人商店が密集しているような地域でした。それぞれ担当する学年や教科は異なりますが、同じ国際総合学類の先輩、インドネシア教育大学（インドネシア）の学生4名、タイ・コンケン大学（タイ）の学生2名と一緒に、実習に参加させていただきました。

私が担当したのは中学1年生の英語で、附属付属校の英語科の先生にメンターとしてついていただきました。メンターの先生には、授業計画についての相談やアドバイスをいただいていた。最初は授業を見学し、普段どのような内容をやっているのか、どのような様子なのかを観察しました。

学校では基本的に英語で授業が行われ、生徒たちは皆流暢に英語を話しますが、日常会話ではタガログ語を使うことが多いようです。かなり英語が得意な生徒たちだったので、中学1年生相手ですが、高校のコミュニケーション英語の教科書をアレンジして授業を行いました。ペアワークやクラス全体で行うゲームなども取り入れ、いつもとは少し違うスタイルの授業を楽しんでもらえたかと思います。とても反応のいい生徒たちだったので、授業をする側も「次はこんな風にしてみよう」と工夫する点が盛りだくさんでした。生徒たちに「Ma'am Naura!」と呼ばれ、すれ違うたびに話しかけられたり、一緒に写真を撮りたいと言われたりするのも、新鮮な経験で楽しかったです。大学の学生や先生方にも、本当に親切にサポートしていただきました。

やはり、行ったことのない場所に飛び込んで新たな経験をしてみるというのは、自分にあらゆる気づきを与えてくれるものだと思つづく思います。私自身、憧れだった国際総合学類に入学して出会ってきた友達や先生方から、本当にたくさんのことを教えてもらったと実感しています。大学生活は本当に貴重な時間です。これから大学生になる皆さんの中には、今も進路に迷っている方、どうすればいいかわからなくなってしまった方もいるかと思います。自分が本当はどうしたいのか、何をやりたいのかということ、いちばん大切にしたいとあけてください。

ギャップ

福田 彩乃

Fukuda Ayano



2年次の冬の1か月間スウェーデンでWWOOF（ウーフ）をしてきました。WWOOFとは、ファームで労働する代わりにオーガニック農法やその栽培に関するノウハウの知識と、衣食住が無料で提供されるボランティア活動です。全世界130か国以上で行われており、ユーザーは仲介なしで直接ホストファームと交渉し、現地で活動するシステムになっています。当時の私は「自分の進路を見直したい」「留学ではない方法で海外生活・国際交流してみたい」と思っていました。そこで、もともと高校生の時にG20世界農業大臣会合に参加し提言活動を行った経験があったこと、農業分野には一定の知識と関心があったことから、WWOOFという選択をしました。また、スウェーデンという国を選んだ理由としては、広大な自然があることや、先進国北欧の実態を知ることができるという点が決め手になりました。

滞在中は動物の給餌を主として、コミュニティハウスの解体、薪割りなどを主に行いました。ファームでは、ホストにスウェーデン農業の実情や展望を取材し、土地所有を巡る問題に関して議論しました。約120haの土地に囲まれ、動物たちと共に過ごす時間は、日本では経験できないスローライフそのものでした。特にFika（フィーカ）と言われる休憩時間では、コーヒー片手にテーブルを囲み、一日のタスクや状況をシェアする心地の良いものでした。国際交流面では、アメリカ人のルームメイトと共に過ごしつつ、ホストの参加するスタディーサークルの方とも交流し、スウェーデンの生涯学習の現場に触れま

した。その他にも自ら国際総合学類のOB・OGの方と連絡をとりフィンランドでお会いしたり、スウェーデンの学生と交流したりと、ファーム以外のコミュニティにも積極的に活動範囲を広げました。スウェーデン滞在は農業、文化、政治と実に濃い1か月でしたが、最も印象的で影響があった点は、「ギャップ期間」（大学入学前や卒業後などにボランティアなどの体験をする猶予期間のこと）をとることの重要性です。「普段は見落としがちな自分の本音は、環境と過ごし方を変えることで見つけれられる」と、この旅で出会った人に言われることが多く、自分自身も同じように思います。実際に今回のボランティア経験も、ギャップ期間としての位置づけで、自分の指針を見直すために敢えて留学ではない手段にこだわりました。留学願望だけが独り歩きしてしまっていた状態に疑問符を打ち、いったん大好きな自然に囲まれて色んな人と話してみる。視野を持ち直してみる。異国の地、スウェーデンで自己と他者との対話を重ねて得た発見をもとに、現在は新たな目標へ向かって邁進しています。本誌を読んでいる方には、高校生さんはもちろん卒業生の方、また社会人学生を検討している方もいると思います。ライフステージごとに、選択の重みや価値観は大きく変化しますが、その中でも生き急ぐずに自分にゆっくり向き合う時間こそが肝要なのではないかと思えます。場所が日本であれ、海外であれ、自分の心地良いと思える場所に身を置き、何かを追究してみることでゆとりのある意思決定ができると思っています。

「好奇心」と「行動力」を大切に

新規事業開発

大城 博嗣 (2007年3月卒業)
Ohshiro Hirotsugu

私は2007年度に大学を卒業後、輸送機器メーカーへ入社しました。これまでは主に海外営業担当として、ロシアや中南米市場、また中国/上海にある子会社への駐在等、数年おきに担当市場グループを異動しながら各国ニーズに合わせた商品の企画や販売業務に従事してきました。途中、海外留学制度を活用し経営全般について学ぶ機会を頂き、帰国後はM&Aやベンチャー企業への出資、また新規事業開発支援といったより全社的な視点に立った業務を担う事になり、現在は自ら一つの新規事業開発PJに参画し日々邁進しています。

振り返ってみますと、この様な新しいチャレンジが連続する面白い仕事に取り組めてきたのも、大学時代の経験が大きく影響しているものと考えています。私は国際関係学を主専攻とし、例えばそれ迄ほとんど知識が無かったロシアや中国政治について、講義は勿論ですが各国の出身学生との雑談を通じてとても興味深く学んだ事を覚えています。また、3年次には多くの同級生が海外留学等で「外の世界を知る」経験を積んでいく中、私自身も在学中に目指していた英語教員としての知識を深める目的で、1年程TESOL（英語教授法）Certificate取得の為カナダ留学へ挑戦しました。興



海外留学時のケースコンペ出場時の1枚（右から2番目が筆者）

味ある新たな知識の習得や自発的な行動力といった今に通じる素養を、国際総合学類における自然な環境の下で身に付ける事が出来たのかなと感じています。

ビジネスというフィールドは、そもそも不確定要素が大きく、先が見通しにくいものです。それがグローバル市場となると、より複雑性は増します。このような条件下において、最終的にそこで求められる能力は、「失敗を恐れず楽しみながらチャレンジを続け、多くの経験値を積みその知見を次のアクションに繋げる」といった「好奇心」と「行動力」をどれだけ持てるかに尽きるのかなと、個人的には思います。

学生の皆さん、最初から難しく考える必要は全くありません。面白そう、興味がある、少しでもやってみたいと思った事へは、ためらわずにチャレンジしてみてください。また国際総合学類に限らず筑波大学には、皆さんのチャレンジを応援する仲間で溢れていると思いますので、是非積極的に周りの人に声を掛けて、自分の考えを発信して下さい。そうやって行動して得られた貴重な経験や仲間は、将来必ずかけがえのない財産になると思います。私もいつかその仲間に入る事が出来る日を楽しみにしています！

今は「やってみたい」の気持ちを大切に

国内外ニュースの取材、記事配信

篠崎 真希 (2011年3月卒業)
Shinozaki Maki



札幌支社近くの大通公園で

共同通信社札幌支社で記者をしています。海外を飛び回るジャーナリストになることが子どもの頃からの夢で、国際総合学類を選びました。実際には私の取材のフィールドは国内ですが、人に話を聞いて、伝える仕事の原点は大学時代にあります。

栃木県の田舎で育った私は小学生の時、ホームステイで受け入れたアメリカ人の女の子と出会い、海の向こうに世界が広がっていることを知りました。行ったことがない場所に憧れを抱き、好きな写真を仕事にしたいと思い、新聞記者を目指すようになりました。

国際総合学類は自分の興味を追及し、行動する人たちの集まりでした。周囲の仲間は発展途上国の教育や紛争地域の人権問題という学類ならではのテーマにとどまらず、地域おこしに参加したり、運動部やサークルに熱中したり。刺激を受け、今だからできることに挑戦しようと背中を押されました。

3年次にはチェコへ留学しました。その時期は世界一周旅やインターン、やりたいことのために休学する人が少なくなく、1年くらい遠く離れた国で暮らす経験がしてみたいと思いました。米国のオバマ元大統領が核なき世

界に向けてプラハで演説したとき、私は聴衆の中にいました。チェコ人の友人に肩車されながら会場の熱気と期待を肌で感じ、自分は歴史が作られる瞬間を伝える人になりたいと改めて思いました。

記者の仕事をしていると、驚き、感動、憤りに心が震える場面に出会います。石川県で勤務していたときには地元が50年待ち望んだ北陸新幹線開業を担当し、人々の盛り上がりや街が変わっていく様子をわくわくしながら取材しました。千葉県では虐待死事件の裁判を傍聴し、亡くなった子がSOSを何度も発していたのになぜ救うことができなかったのかとやるせない気持ちになりました。世の中は幸せなニュースばかりではありませんが、人の営みを記録し、必要としている人に情報を届けていきたいです。

私は大学で何が専門だったと言えるほどのものはありませんが、留学、学類の仲間やゼミで過ごした時間、つくばでの生活が今の自分をつくり、仕事にもつながっています。入り口は「国際」でも行き着く先は必ずしも国際的な何かではないかもしれませんが。今はこんなことを学んでみたい、やってみたいという気持ちを大切に最初の一步を踏み出してみてください。

出会いは必然

関西学院大学法学部教授（2023-24年度法学部長）。主要著書として『政治参加と民主政治』（東京大学出版会、2016年）、『二大政党制の崩壊と政権担当能力評価』（木鐸社、2017年）。

山田 真裕 (1987年3月卒業)
Yamada Masahiro



関西学院大学法学部長になったときに広報用に撮影されたもので、職場のサイト(https://www.kwansei.ac.jp/s_law/message/dean)に掲載されています。

私は1984年に国際関係学類に入学しました。その後同じ筑波大学の大学院である社会科学研究科に入学し、1993年に学位取得修了、同年9月から筑波大学社会学系助手となり、1996年から現在の職場である関西学院大学法学部の教員を務めています。筑波には12年いましたし、その間に結婚して子ども持ちましたので（3人いるわが子のうち2人はつくば生まれ）、つくばにはひとかたならぬ愛着があります。

私が入学したころはアメリカとソ連の緊張関係がまだ強い一方で、日本経済は成長を続けており、未来に希望を持ちやすい時代でした。今の学生さんたちとは40年近い年齢差であり、私が生きてきた時代とは全く異なる状況を今の学生さんたちは生きていくことになるので、あまりお役に立てるようなことを言える自信はありません。

ただ皆さんの先輩たちは本当に世界中にいます。以前ロンドンに出張した際に、ミニ同窓会を現地で働いておられる方々が開催してくださいましたが、ヨーロッパ中から何十人も同窓生が集まりました。

また以前、日本青年館で学類の同窓会をしたときに、ある同窓生が言われるには「レバノンの語学学校なら日本人はいないだろうと思って行ったの

に、二人も日本人がいたが、みんな同窓生だった。この卒業生は変です（笑）」とのことでしたが、これこそ「コッカシ（国関）」を象徴するようなエピソードです。国際総合学類に改組されてから30年近く経っていますが、このようなマインドセットが引き継がれていたらいいと思うばかりです。私はFacebookにおいて「国際関係学類・国際総合学類同窓会」のコミュニティを管理しています。メンバー数は2023年9月現在で1000人を超えています。ぜひここを使って、いろいろな先輩たちとの交流に使っていただければ幸いです。

還暦近くまで生きてきて思うのは、出会いは偶然ではなく必然に近いということです。出会いこそ「求めよ、さらば与えられん」です。特にこのSNSが普及した社会においては、あなたがどういう人に出会いたいかを発信し続ければ、かなりの確率で出会うべき人に出会うべくして出会います。

どうぞ広い視野を持って、新たな時代を切り開いていってください。そして広い視野を持つために、自分が処理できる情報を増やすために、学び続けてください。

自分の幸せを知ること

地方公務員

大野 恭子 (2010年3月卒業)
Ohno Kyoko



職場の駅伝大会での1枚（家族が応援に来てくれました。）

筑波大学を選択したことは私の人生のターニングポイントであり、最良の選択だったと思います。大学時代の経験は確実に私の糧になっていますし、そこで出逢えた個性あふれる魅力的な友人たちは私の宝物です。

私は生まれてから高校までを山口県で過ごし、地元という狭い空間に留まり続けることにもどかしさを感じ、得意の英語を活かしてもっと広い世界を知りたい！関わりたい！という思いから国際総合学類に入学しました。大学時代、「やらない後悔よりやった後悔」を信条に、興味のあることに納得いくまで全力で取り組みました。内閣府世界青年の船、国際交流事業、交換留学（オーストラリア）、社交ダンス（サークル）、卒論の研究等々、様々な経験をした結果、逆接的ではありますが、現在は地元の山口県に戻り、地方公務員として働いています。

転機となったのは留学と東日本大震災でした。この2つの経験から、私の人生の目標が「世界を視野に入れた広い舞台で自分が活躍すること」ではなく、「大切な人（家族）とより多くの時間を過ごすこと。子育てを生まれ育った地（環境）ですること」であることに気がつきました。人生の目標というの大げさですが、すなわち自分が何を重視しているか、何に幸せを感じるかということに気付けたということです。海外に出て、様々な価値観

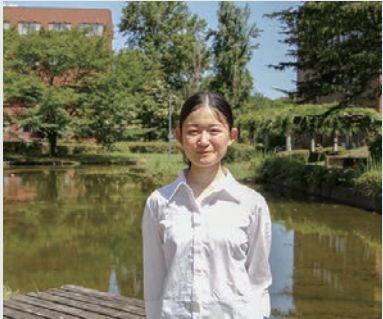
と交わることで、より自分の内面と向き合うことができましたし、就職活動中に東日本大震災が起こったことで、より家族とのつながりや自分の幸せ（喜び）について冷静に考える機会が与えられたことも大きかったと思います。

最初に就職したのは、全国に支店を構える信託銀行の山口支店でした。金融の仕事は世界情勢と大きく関係し、とてもやりがいのある仕事でしたが、より長いスパンで自分らしく働きたいという思いから地方公務員に転職しました。公務員の仕事は多岐にわたります。以前は固定資産税や住民税など税に関する業務でしたが、現在は高齢者福祉に関する仕事をしています。部署の異動がある度に転職したかのような苦労はありますが、それと同時に、毎日学びや発見があり、自分の視野や見識が広がることに喜びも感じています。

大学時代は社会人に比べて制限が少なく、自分の興味あることに思う存分チャレンジしたり、極めたり、自分のエネルギーを好きなだけ注げる大変貴重な期間だと思います。国際の同期は「前向き、明るい、志が高い」魅力的な人たちが多く、自分の可能性や視野を拡げられる最高の環境であると思います。皆さんが自身の幸せを自覚し、更にご活躍されることを心より祈念しております。

08 学生紹介

①出身地 ②出身校 ③ゼミ ④国際総合学類で得たもの ⑤将来したいこと ⑥座右の銘



- ①香川県
- ②大手前高松高等学校
- ③大倉ゼミ
- ④自分を知る時間
- ⑤がんばる人を支える仕事
- ⑥知足安分



- ①新潟県
- ②新潟市立高志中等教育学校
- ③Simonaゼミ
- ④友人
- ⑤海外移住！夏のフィンランドでブルーベリー摘みをする
- ⑥雲の上はいつも青空



- ①茨城県
- ②私立土浦日本大学高校
- ③外山ゼミ
- ④たくさんの出会い
- ⑤おばあちゃんになってもヒールで踊りたい
- ⑥当たって砕ける



- ①長野県
- ②長野西高等学校
- ③潘ゼミ
- ④特にない
- ⑤クリエイターを支え、彼らの凄さを伝えられる人間になりたい
- ⑥本物の特別になれ



- ①愛知県
- ②愛知県立刈谷高等学校
- ③外山ゼミ
- ④環境問題、エネルギー問題への関心。
- ⑤総合商社に就職して、できればエネルギー事業に取り組みたい。
- ⑥習慣は第二の天才なり



- ①茨城県
- ②茨城県立土浦第一高等学校
- ③黒川ゼミ
- ④大学での学びの楽しさ、大学での様々な貴重な経験
- ⑤国際関係の仕事に就く、海外に住む
- ⑥努力は裏切らない！



- ①福岡県
- ②私立九州産業大学付属九州高等学校
- ③大友ゼミ
- ④友達、やる気、夢
- ⑤各国間の経済関係強化による平和維持に携わる！
- ⑥風林火山



- ①埼玉県
- ②埼玉県立春日部高等学校
- ③奥島ゼミ
- ④最高の友人、唯一無二の経験、将来への希望
- ⑤持続可能で幸福度の高い環境整備
- ⑥なんとかなる



- ①千葉県
- ②千葉県立幕張総合高等学校
- ③中野ゼミ
- ④幅広い知識・教養、面白い仲間
- ⑤0から何かを創る
- ⑥粉骨砕身



- ①新潟県
- ②新潟県立佐渡高等学校
- ③井出ゼミ
- ④一生の友達、人生を変える経験
- ⑤自然の中で何も考えずに暮らすこと
- ⑥迷ったら楽しい方！なんとかなる！！



- ①富山県
- ②富山県立砺波高等学校
- ③高橋ゼミ
- ④様々な視点から物事を捉えることができるようになった。
- ⑤海外旅行
- ⑥初志貫徹



- ①香川県
- ②高松第一高等学校
- ③佐藤ゼミ
- ④幅広い人脈とチャンス
- ⑤アラビア語で本を出版する！
- ⑥目の前のことを淡々と。



- ①愛知県
- ②私立光ヶ丘女子高等学校
- ③佐藤ゼミ
- ④魅力あふれる友人たちと外交への興味
- ⑤最終的には小さなお惣菜屋か焼き菓子屋さんを開きたい
- ⑥Deeds, not words



- ①茨城県
- ②哲学館中等教育学校
- ③中野ゼミ
- ④1.沢山の尊敬、信頼できる友達 2.行動力 3.視野の広さ
- ⑤開発コンサルタントとして、金融的アプローチから開発に携わる
- ⑥努力は必ず報われる！



- ①新潟県
- ②新潟県立新潟南高等学校
- ③外山ゼミ
- ④時間
- ⑤お金を産む
- ⑥高強度のアクションを連発する。



- ①東京都
- ②私立桐蔭学園高校
- ③松原ゼミ
- ④様々な分野に興味を持つ友達
- ⑤クロアチアで働きたい
- ⑥思い立ったが吉日



- ①宮城県
- ②仙台市立仙台青陵中等教育学校
- ③関根ゼミ
- ④高い志を持った友人
- ⑤私生活も充実させつつ誰かの役に立つ仕事をしたい
- ⑥可能性を広げる！



- ①千葉県
- ②私立芝浦工業大学柏高等学校
- ③中野ゼミ
- ④自分の世界・価値観を広げる機会
- ⑤平和に幸せに楽しく生きる！
- ⑥人生は1度きり

08 学生紹介

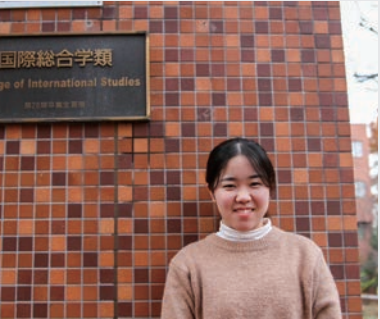
①出身地 ②出身校 ③ゼミ ④国際総合学類で得たもの ⑤将来したいこと ⑥座右の銘



①東京都
②都立新宿高等学校
③奥島ゼミ
④様々なバックグラウンドの人と話す機会
⑤おしゃれな家に住む
⑥禍福は糾える縄の如し



①東京都
②私立攻玉社高校
③大倉ゼミ
④おもしろ友達
⑤何かしらの形で日本の政治に関わりたい
⑥恥を偲んで恥晒せ



①静岡県
②静岡県西遠女子学園
③松島ゼミ
④たくさんの素敵な友達
⑤いろいろな国で働く
⑥なるようになる



①滋賀県
②滋賀県立膳所高等学校
③松島ゼミ
④素敵な友達が出来たこと！世界って広いんやなって知れたこと！
⑤人と関わることが好きなので、それを活かせる仕事がしたいです。
⑥笑う門には福来たる



①東京都
②東京都立小山台高等学校
③大友ゼミ
④たくさん「迷走」できていることが一番の財産だと感じます
⑤国の安全保障に関わる仕事がしたいです。
⑥感謝



①岩手県
②岩手県立不来方高等学校
③佐藤ゼミ
④挑戦力、世界の見方
⑤世界中を旅する
⑥一念天に通ず

Column 2

卒業生の進路情報（令和3年度）

卒業者数	就職者数	進学者数	その他
98	66	23	9

主な就職先一覧

- 公務員
- ・(国)総務省・(国)農林水産省・(国)千葉地方裁判所
 - ・(国)警察庁・(地)茨城県庁・(地)土浦市役所

- 商社
- ・日本パルプ商事株式会社・三井物産株式会社

- マスコミ・広告
- ・株式会社電通北海道・株式会社毎日新聞・日本放送協会(NHK)
 - ・株式会社セブテーニホールディングス

- 金融・保険
- ・株式会社かんぽ生命保険・株式会社常陽銀行
 - ・株式会社常陽銀行・野村證券株式会社

- 製造・建設
- ・伊藤ハム株式会社・株式会社土屋鞆製作所・株式会社東芝
 - ・株式会社ハウテックHousetec Inc.・スズキ株式会社
 - ・武田薬品工業株式会社・日産化学株式会社・富士通株式会社
 - ・三菱自動車株式会社・ユニ・チャーム株式会社・HAIRO株式会社

- 流通・運輸・通信・情報・エネルギー・不動産・人材等
- ・あいべ整形外科・一般社団法人共同通信社・出光興産株式会社
 - ・エムシー・ヘルスケア株式会社・エン・ジャパン株式会社
 - ・オリックス自動車株式会社・株式会社QUICK(クイック)
 - ・株式会社WorksHumanintelligence・株式会社アドバンスママダ
 - ・株式会社アミティー・株式会社クニエ・株式会社自由人
 - ・株式会社東京プライズエージェンシー・株式会社オルスタジャパン
 - ・株式会社トライステージ・株式会社ネオキャリア・株式会社メイン
 - ・株式会社マイベスト・株式会社ミツワフロンテック・株式会社ムトウ
 - ・社団法人青年海外協力協会・鈴与株式会社・日本通運株式会社
 - ・ユナイテッド海運株式会社・EY税理士法人・JA三井リース株式会社
 - ・NTTコミュニケーション株式会社・NTTデータ先端技術

主な進学先一覧

- 筑波大学大学院
- 筑波大学人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群
 - 筑波大学理工情報生命学術院システム情報工学研究群
 - 筑波大学人間総合科学学術院人間総合科学研究群

- 他大学大学院
- 東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化専攻
 - お茶の水女子大学大学院発達臨床心理学コース
 - 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科
 - ソウル大学
 - University of Queensland 国際関係
 - University of Leeds, Business Analytics and Decision Sciences



①群馬
②群馬県立前橋高等学校
③亀山ゼミ
④多角的な視野
⑤社会貢献、幸せに暮らす
⑥願う以上に自分で変える



①福井県
②福井県立武生東高等学校
③吉田ゼミ
④様々な考えを持ち常に刺激を与えられる友人とグローバルな視点
⑤飛行機が好きなので、航空関係の仕事で活躍したい
⑥思う念力岩をも通す



①北海道
②北海道札幌国際情報高等学校
③佐藤ゼミ
④多様な価値観
⑤世界中の子どもたちと関わる
⑥清明正直



①茨城県
②私立水城高等学校
③外山ゼミ
④たくさんの仲間
⑤世界一周しておいしいものをいっぱい食べる
⑥明日は明日の風が吹く



①福岡県
②福岡県立明善高等学校
③大倉ゼミ
④適応能力！
⑤数年ごとに環境チェンジ、海辺で一人暮らし
⑥童心を忘れない



①埼玉県
②開智高校
③大倉ゼミ
④意識の高い同期
⑤筑波大学女子ソフトボール部のアナリスト
⑥知之者、不如好之者。好之者、不如楽之者。

08 学生紹介

①出身地 ②出身校 ③ゼミ ④国際総合学類で得たもの ⑤将来したいこと ⑥座右の銘



- ①東京都
- ②私立本郷高校
- ③松原ゼミ
- ④視野の広さ
- ⑤まちづくりに携わること
- ⑥克己心



- ①東京都
- ②私立芝高等学校
- ③高橋ゼミ
- ④様々な分野の基礎知識
- ⑤都市計画、のんびり旅行
- ⑥自責で捉える



- ①新潟県
- ②新潟県立三条高等学校
- ③外山ゼミ
- ④たくさんの刺激的な日々!
- ⑤笑顔をつくりだせる人間になる!!
- ⑥虚心坦懐



- ①静岡県
- ②星陵高等学校
- ③寺内ゼミ
- ④幅広い知識と多角的なものの見方。
- ⑤まだ行ったことがない国や地域に行つて観光をしたい!
- ⑥縁の下の力持ち



- ①群馬県
- ②群馬県立前橋女子高等学校
- ③松原ゼミ
- ④コミュカ
- ⑤自分で満足のいく人生にできればいいなと思います
- ⑥苦しい時こそ頑張りがき



- ①埼玉県
- ②埼玉県立浦和第一女子高等学校
- ③日高ゼミ
- ④深い話ができる友達
- ⑤トリリンガル (日・英・中) を極める
- ⑥努力は絶対裏切らない



- ①福島県
- ②福島県立福島高等学校
- ③吉田ゼミ
- ④歴史から学び多角的な視点で現在の事象に応用する力
- ⑤外務省や防衛省で国のために国際法を使いたい
- ⑥いま、この瞬間を幸せに



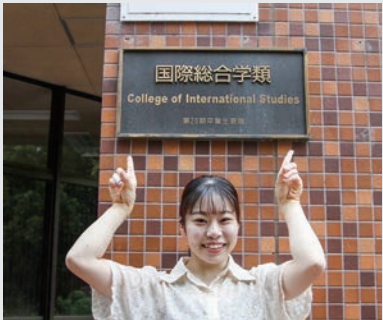
- ①東京都
- ②私立拓殖大学第一高等学校
- ③寺内ゼミ
- ④友達と英語の力
- ⑤スポーツを通してグローバルに活躍したい
- ⑥急がば回れでも急げ



- ①栃木県
- ②栃木県立宇都宮女子高校
- ③松島ゼミ
- ④優秀でモチベーション上げてくれる愉快な仲間
- ⑤途上国開発に関わりたい!
- ⑥日進月歩



- ①山口県
- ②埼玉県立浦和第一女子高等学校
- ③松原ゼミ
- ④広い視野
- ⑤笑って生きる!
- ⑥初志貫徹



- ①宮崎県
- ②宮崎県立延岡高等学校
- ③関根ゼミ
- ④癖が強めのお友達
- ⑤ロッキングチェアに座って編み物が読書するおばあちゃん
- ⑥継続は力なり



- ①新潟県
- ②新潟県立新潟高等学校
- ③吉田ゼミ
- ④人との繋がりが
- ⑤スキューバダイビング
- ⑥人に優しいの「人」の中に自分も含まれます



- ①石川県
- ②石川県立小松高等学校
- ③関根ゼミ
- ④向上心
- ⑤楽しいこと
- ⑥千里の道も一歩から



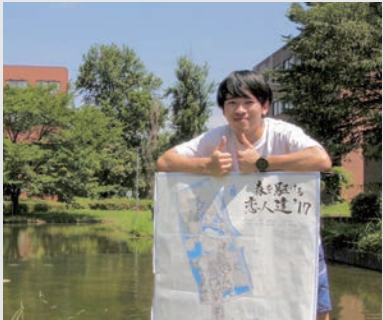
- ①東京都
- ②白百合学園高等学校
- ③黒川ゼミ
- ④切磋琢磨できる環境
- ⑤太平洋諸島巡りの旅
- ⑥No rain, No rainbow



- ①茨城県
- ②茨城県立下妻第一高等学校
- ③中野ゼミ
- ④優秀な方々との出会い
- ⑤途上国支援
- ⑥思ったとおりにならなかった楽しさというもあるものさ



- ①東京都
- ②東京都立国分寺高等学校
- ③白川ゼミ
- ④色々な分野への関心
- ⑤世界旅行
- ⑥童心忘るべからず



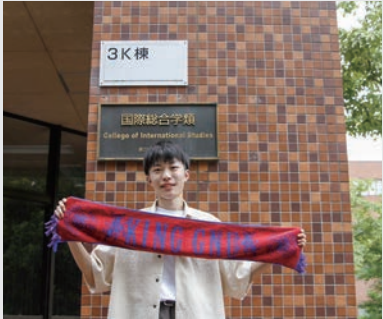
- ①千葉県
- ②千葉県立船橋高等学校
- ③関根ゼミ
- ④好きなことにのめり込む力、行動力
- ⑤北欧でキャンプと登山
- ⑥思い立ったが吉日



- ①埼玉県
- ②埼玉県立熊谷高等学校
- ③日高ゼミ
- ④国際社会への探究心
- ⑤夢中になれる仕事に就く
- ⑥質実剛健

08 学生紹介

①出身地 ②出身校 ③ゼミ ④国際総合学類で得たもの ⑤将来したいこと ⑥座右の銘



①茨城
②茨城県立緑岡高等学校
③大友ゼミ
④頼りになる友達
⑤本場のフィンランドのサウナに行く
⑥人生意外となんとかなる



①岩手県
②岩手県立大船渡高等学校
③井出ゼミ
④色々な視点をもって物事を捉えられるようになったこと
⑤箱根駅伝に出て自分の子どもに自慢する!
⑥しなやかに遅しく



①岩手県
②岩手県立花巻北高等学校
③関根ゼミ
④いろいろなものの見方。素敵な友人たちとの出会い。
⑤世界ネコ歩きやりたいです。
⑥私たちは自分が思った通りの人間になる。



①茨城県
②茨城県立竜ヶ崎第一高校
③外山ゼミ
④幅広い学問の知識
⑤マーケターとして日本企業の成長を支えたい
⑥七転び八起き



①東京都
②東京女学館高等学校
③井出ゼミ
④国際情勢の多角的な視点
⑤未定
⑥意思とは、記憶の奴隷である



①愛知県
②愛知県立刈谷高等学校
③日高ゼミ
④中国語力
⑤お笑い芸人
⑥石の上にも3年



①青森県
②青森県立三本木高等学校
③外山ゼミ
④色々なことに興味を持てるようになった
⑤未定...とりあえず元気に生きる
⑥やりたい事をやりたいようにやる



①東京都
②東京都立国立高等学校
③黒川ゼミ
④物事を客観的に考える力
⑤豪華客船で世界一周
⑥人は必要な時に必要な人と出会う



①滋賀県
②滋賀県立彦根東高校
③岡ゼミ
④人脈
⑤エンジェル投資家
⑥即決即断



①広島県
②広島県立安古市高等学校
③大倉ゼミ
④幅広い視野を持った教授、先輩、友人
⑤農業分野の働き方を変える経営者になる
⑥幸福の総量の最大化



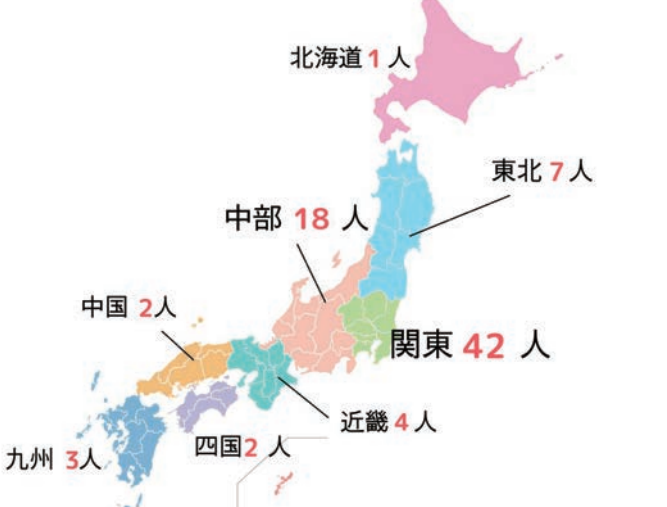
①静岡県
②藤枝明誠高校
③大倉ゼミ
④他人に流されない心
⑤北欧の海辺でのんびり暮らす
⑥明日できることは今日やらない



①千葉県
②八千代松陰高等学校
③黒川ゼミ
④物事をグローバルな視点で考える力や多様性への理解
⑤違う文化や社会を持つ国で生活、そういった国でのビジネス
⑥来るもの拒まず去るものも追わず

Column 3

国際生の出身地は？



北は北海道、南は宮崎まで全国各地から集まっている国際39期生。

地方別ランキングは
1位 関東 42人 2位 中部 18人
3位 東北 7人
でした。

都道府県別ランキングは
1位 東京 15人 2位 茨城県 9人
3位 埼玉県 8人 でした。



①福井県
②福井県立武生東高等学校
③黒川ゼミ
④道徳
⑤アメリカ永住権獲得
⑥揉まれたほうがいいかは知らなくても揉まれた方が甘いまかん



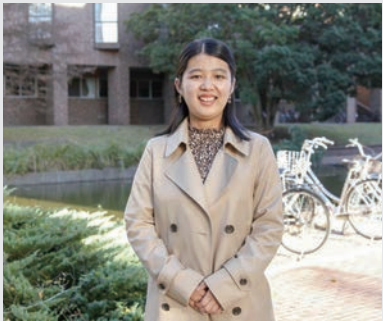
①東京都
②東京都立駒場高等学校
③黒川ゼミ
④専門性、英語力
⑤海外旅行
⑥人事を尽くして天命を待つ



①福井県
②福井県立武生東高校
③毛利ゼミ
④多様性への理解
⑤スポーツでの国際開発に携わる
⑥Follow your own star

08 学生紹介

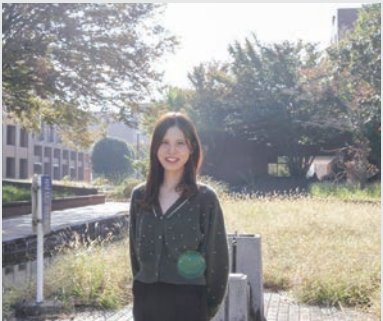
①出身地 ②出身校 ③ゼミ ④国際総合学類で得たもの ⑤将来したいこと ⑥座右の銘



- ①東京都
- ②東京都立八王子東高等学校
- ③奥島ゼミ
- ④行動力
- ⑤教育系
- ⑥楽しめず楽しいことをする



- ①群馬県
- ②埼玉県立不動岡高等学校
- ③松島ゼミ
- ④友だち
- ⑤旅
- ⑥笑う門には福来る



- ①茨城県
- ②茨城県立水戸第一高等学校
- ③関根ゼミ
- ④多様な価値観
- ⑤世界中の素敵な人と美味しいものに出会う
- ⑥ハングリー精神



- ①兵庫県
- ②西宮市立西宮高等学校
- ③井出ゼミ
- ④物事を様々な視点から考える態度
- ⑤目の前にいる人を楽しませること。
- ⑥今日できることを明日に残すな



- ①茨城県
- ②茨城県立竹園高等学校
- ③大倉ゼミ
- ④行動力と目標を持ったたくさんの友達との交流
- ⑤社会的弱者と呼ばれる人たちに寛容な社会を作りたい
- ⑥果報は寝て待つ



- ①東京都
- ②恵泉女学園高校
- ③井出ゼミ
- ④様々な国際関係について、多角的な視点から学ぶことができた。
- ⑤世界中の人と繋がりながら、自分がやりたいことをしたい!
- ⑥なるようになるさ



- ①埼玉県
- ②埼玉県立越谷北高等学校
- ③日高ゼミ
- ④国際関係学の知識と親友
- ⑤世界を少しでも平和にしたい
- ⑥やればできる



- ①千葉県
- ②千葉県立千葉高等学校
- ③日高ゼミ
- ④グローバルな政治観
- ⑤のんびり暮らす
- ⑥脱おろちゃん



- ①埼玉県
- ②さいたま市立浦和高等学校
- ③佐藤ゼミ
- ④友達
- ⑤アクティブな仕事がしたい
- ⑥好奇心が殺すのは猫だけじゃない



- ①宮城県
- ②宮城県立利府高校
- ③井出ゼミ
- ④幅広い知識と多様な経験
- ⑤やりがい
- ⑥たたかうマヌカハニー



- ①大阪府
- ②大阪府立生野高等学校
- ③日高ゼミ
- ④国際関係、環境問題についての新たな知見。
- ⑤筑波大学周辺にパスタ屋さんを開くこと
- ⑥Good vibes!



- ①埼玉県
- ②私立西武学園文理高等学校
- ③中野ゼミ
- ④自分と同じくらいおかしなお友達
- ⑤世界中全ての国で友達を作る!
- ⑥置かれた場所で咲きなさい

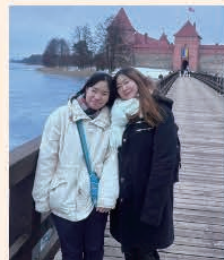


- ①新潟県
- ②新潟県立新潟中央高等学校
- ③佐藤ゼミ
- ④視野の広さ
- ⑤世界一周
- ⑥成せばなる





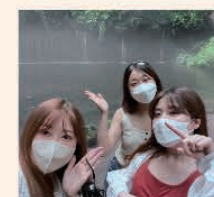
Campus Life



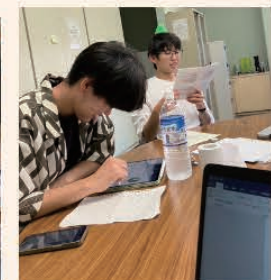
留学はもちろん、
旅行や
インターンシップで
海外へ行く
国際生も！



多くの国際生が
サークルや
部活に所属！
充実した日々を
送っています！



他学類が
認めるほどの
仲の良さ◎



明日のEXECUTIVE 編集後記

●大友美空
高3になつてから志望校を筑波の国際に決めた私にとって、コロナの影響で対面でのオープンキャンパスが中止になったこともあり、この『明日のEXECUTIVE』は大変な情報源でした。あれから4年が経ち、この『明日のEXECUTIVE』に携わることがとても嬉しく、感慨深いです。30期の想いと思い出が詰まったこの学類誌が未来の国際生の皆様のお役に立てば幸いです。そして編集にご協力いただいた全員の皆様、ありがとうございました！
(学類長挨拶、カリキュラム紹介、教員紹介)

●田中晴
新型コロナウイルスの脅威が小さくなくなって迎える新年。昨年よりも多くなった対面授業、どこか少しも大層なものを食堂。全部がこれまでの大学生活とは違う新鮮なものでした。勉強だけでなく部活にバイトに、。めまやめと忙しいけれども充実しています。そんなアクティブな国際総合学類生の日常を少しでもこの冊子から味わっていただけたら幸いです。
(写真撮影、OB・OGからのメッセージ、留学体験記)

●中島陸人
5年前に『明日のEXECUTIVE』を読んで筑波大学の国際総合学類に魅了されました。そして今は自分が『明日のEXECUTIVE』を作る側にいます。国際生は本当に色々な方たちで編集した『明日のEXECUTIVE』が、読んでいただくと筑波の国際の魅力を少しでも知ってもらえれば幸いです。
(学生紹介、分野紹介)

●村上日向
高校生の時、受験勉強から逃げたくなった時は過去の先輩方の『明日のEXECUTIVE』を開き、憧れの国際生になるんだと自分を奮い立たせました。こうして編集する側として携われたことに大変感謝しています。国際生は本当に色々な方たちで編集した『明日のEXECUTIVE』が、読んでいただくと筑波の国際の魅力を少しでも知ってもらえれば幸いです。
(留学体験記、教員紹介、キャンパスライフ)

●山下風香
地方出身の私にとって、『明日のEXECUTIVE』は国際総合学類を知る貴重な情報源でした。私は国際分野に強い関心があったわけではなく、アルバイトで暮らして大学に入ったつもりです。しかし、国際総合学類に入ってから思うように、自分の個性や強みを半強制的にも考えさせられる、地方に住んでいて志望大学を選んでいる方々、何に興味があるのか分からず大学選びを迷っている方々も、このパンフレットを通して国際の魅力を知っていただけたら嬉しいです。
(デザイン、インタビュー、ボランティア体験記、キャンパスライフ)

